

専門基礎分野 授業計画

授業科目及び時間数	栄養学 1単位 30時間	
開講時期	1年次 前期	
担当教員	新井英一・星智子	
<p>科目のねらい・到達目標</p> <p>生命の維持、成長、及び臓器・組織の正常な機能の維持、エネルギー生産のために必要な栄養素とその適正量、合理的な摂取方法について学ぶ。</p>		
授業計画・内容・担当教員		
1回目	1. 生命維持のための栄養の役割	講義 (新井)
2回目	1. 栄養素の種類と働き (1) 食品群および食品のエネルギー	講義 (新井)
3回目	1. 栄養素の種類と働き (1) 多量、微量栄養素	講義 (新井)
4回目	1. 栄養素の消化・吸収・代謝 (1)	講義 (新井)
5回目	1. 栄養素の消化・吸収・代謝 (2)	講義 (新井)
6回目	1. 食事摂取基準とエネルギー出納 (必要量と消費)	講義 (新井)
7回目	1. ライフステージと栄養 1) 乳児期 2) 幼児期 3) 妊娠・授乳期 4) 老年期	講義 (新井)
8回目	1. 食事療法の位置づけ 1) 食事療法の意義 2) 医療保障制度と栄養食事療法 3) チーム医療と栄養食事療法 4) 栄養管理の方法 5) 病人食の特徴と種類	講義 (星)
9回目	1. 糖尿病の食事療法	講義 (星)
10回目	1. 循環器疾患の食事療法	講義 (星)
11回目	1. 腎臓病の食事療法	講義 (星)
12回目	1. 肝胆膵疾患の食事療法	講義 (星)
13回目	1. 消化器疾患と術前後の食事療法	講義 (星)
14回目	1. 高齢者の食事と特徴 呼吸器疾患の食事	講義 (星)
15回目	終了試験	
評価方法	終了試験 筆記試験 100%: 新井 (50%) 星 (50%)	
受講生に対するメッセージ	<p>「食べることは生きること」。病者のみならず、健康を維持するために必要な栄養素。栄養素の役割、種類、体内での反応を理解することが、医療従事者としての基本です。</p> <p>生活の中で、身近な存在です。自分や家族のことを考えると自ずと理解を深められると思います。看護師に対する社会の要望は強く、研究、学ぶ態度をもち、保健医療チームの一人として、相手の気持ちがわかる人間に成長してほしいです。</p>	
テキスト	<p>系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能③ 栄養学 医学書院</p> <p>系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院</p> <p>糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版 文光堂</p>	
参考書		